

令和8年第3回保土ヶ谷区区づくり推進横浜市会議員会議

令和8年9月3日（木） 議員団会議終了後
保土ヶ谷区役所 401会議室

次 第

議 題

- 1 令和7年度保土ヶ谷区個性ある区づくり推進費執行実績について
- 2 令和8年度保土ヶ谷区個性ある区づくり推進費執行状況について
 - 2－1 区制100周年事業
 - 2－2 災害対策推進事業【20万区民の自助・共助による減災運動】
 - 2－3 地域見守り推進事業
- 3 令和9年度保土ヶ谷区予算編成の考え方について
- 4 その他



保土ヶ谷区マスコット ほどびー



令和 7 年度保土ヶ谷区 個性ある区づくり推進費 執行実績

令和 8 年 9 月 3 日
保土ヶ谷区

《目次》

1	令和7年度個性ある区づくり推進費 執行総括表	4
2	令和7年度個性ある区づくり推進費 執行内訳	4
(1)	自主企画事業費 施策分野別執行実績	4
(2)	自主企画事業費 事業別執行実績	5
(3)	統合事務事業費 執行実績	24
(4)	区庁舎・区民利用施設管理費 執行実績	27

1 令和7年度個性ある区づくり推進費 執行総括表

(単位：円)

区分	予算額	現計予算額	決算額	差引	差引の主な理由
自主企画事業費 (33事業)	100,371,000	100,371,000	100,343,182	27,818	
統合事務事業費	46,432,000	46,432,000	43,054,099	3,377,901	○広報よこはま発行事業における入札残による委託料残(1,240,000円)・事業見直しによる郵送費の残等による役務費残(722,111円) ○統合事務費(総務課・戸籍課・福祉保健課)における実績による役務費(郵送料)残(714,756円)
区庁舎・区民利用施設管理費	592,523,000	603,028,000	599,522,936	3,505,064	○区庁舎における光熱水費等の実績による需用費残(3,662,260円)
合計	739,326,000	749,831,000	742,920,217	6,910,783	

2 令和7年度個性ある区づくり推進費執行内訳

(1) 自主企画事業費 施策分野別執行実績

(単位：円)

施策分野	予算額	決算額	差引	主な事業・主な取組
1 子どもから高齢者まで誰もが健康やかに暮らせるまちづくり	22,630,000	20,451,809	2,178,191	【ほどがやhappy子育て～妊娠期からの安心サポート～】(5ページ) 地域で孤立せず、人とつながる子育てができるよう、地域や関係機関と連携し、妊娠期から学齢期まで切れ目なく子育てをサポートする事業を実施 【こどもが主役！地域の魅力体験事業～みんなで育む元気がやっこ～】(6ページ) 未来を担う子どもたちが健康やかに成長できる地域環境の実現のため、地域の人同士が交流する場をつくり、お互いに関心を持つきっかけとなる事業を実施
2 暮らしの安全・安心の確保	20,157,000	19,568,183	588,817	【災害対策推進事業】(12ページ) 地域における自助・共助推進のための啓発活動や区災害対策本部、地域防災拠点及び風水害時における避難場所等の機能強化推進 【交通安全対策事業】(13ページ) 各期交通安全運動、交通安全教育及び交通安全対策を継続して実施し、交通事故の防止を推進
3 つながり・支えあいの推進	23,147,000	19,941,934	3,205,066	【保土ヶ谷ほっとなまちづくり推進事業】(15ページ) 「安心していきいきと暮らせるまち」を目指した第4期保土ヶ谷ほっとなまちづくり(地域福祉保健計画)の推進及び第5期計画策定 【地域におけるデジタル活用推進事業】(18ページ) 研修会や情報発信等を通して、地域活動におけるデジタルの活用に対する支援を実施
4 魅力と賑わいのあるまちづくり	22,523,000	22,368,059	154,941	【区制100周年事業】(19ページ) 令和9年度の区制100周年に向けて、機運醸成を図るとともに、「こども・魅力・つながり」の3つのテーマに沿った事業を実施 【花薫るきれいな街ほどがや事業】(20ページ) 「ほどがや花憲章」に基づく、花と緑のあふれる魅力ある街づくりのための事業を実施
5 信頼される区役所づくり	11,914,000	18,013,197	△ 6,099,197	【区役所サービス向上・環境改善事業】(23ページ) 区民満足度向上のため丁寧かつ迅速なサービスの提供が行えるよう研修等を実施、区庁舎・区民利用施設の環境改善による快適な利用空間づくりの推進 【広報推進事業】(23ページ) 区ホームページやSNS等、多様な広報媒体を活用した重層的な情報発信による区事業の周知を実施
合計	100,371,000	100,343,182	27,818	

(2) 自主企画事業費 事業別執行実績

(単位：円)

I 子どもから高齢者まで誰もが健やかに暮らせるまちづくり

【20,451,809円】

誰もが住み慣れたまちでいきいきと暮らせるよう、地域と連携した子育て支援やこどもの体験・交流の場の提供、高齢者・障害のある方への支援、スポーツ振興などに取り組みました。

事業名	事業内容
1 ほ도가や happy 子育て ～妊娠期からの安心サポート～	養育者が楽しく安心して子育てできるよう、妊娠期から学齢期までトータルで子育て世帯やこどもを支援する事業を実施しました。実施にあたっては地域の方々や子育て関係機関と連携しながら進めました。 1 地域と連携した子育て支援 (1) 赤ちゃん教室の開催 (14 会場で各 11 回開催、延べ 1,151 人) (2) 子育てお役立ち情報の発信 (子育て支援マップの配布：5,000 部、健診時の待ち時間を利用した子育て関連情報の提供等：61 回) (3) 子育て支援連絡会の開催 (全体会：3 月 102 人、地区別連絡会：7 地区 延べ 265 人) (4) ほ도가やこどもニコニコフェスタの開催 (10 月 458 人) 2 保育所による妊娠期・未就学児親子の支援 (1) 保育士がイベント等に出向き「子育て応援隊」を開催 (3 回、約 350 組) (2) 妊婦や未就学児親子を対象に育児相談や園庭開放、絵本の貸出 (通年) (3) 親子向けイベント「ほがらか広場」(10 月 参加親子 57 組、参加施設 34 施設) や子育てサロンでの「ほがらか育児講座」(6 回 41 組) の開催 (4) 「泣いても大丈夫！コンサート」の開催 (6 月 356 人) 3 学齢期あんしんスタート事業 「小1あんしんスタートセミナー」の開催 (9 月 65 組) 4 地域と連携した放課後事業 (1) 放課後の居場所づくりを行っている団体が参加するネットワーク会議の開催 (4 回) (2) 放課後児童健全育成事業所への学習支援アドバイザー紹介やプログラム等の運営支援 (4 か所・計 93 回) 【差引の主な理由】 事業実施方法の見直しによる委託料の残、在庫品活用による消耗品費の残



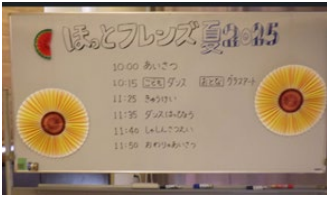
子育て応援隊 (R8. 3)

《こども家庭支援課》

【予算：6,219,000】

【決算：5,023,556】

事業名	事業内容
2 こどもを守ろう！地域子育てつながり事業 《こども家庭支援課》 【予算：1,930,000】 【決算：1,529,346】	こども虐待防止について広く区民に関心を持っていただくとともに、子育て支援に関わる関係機関や地域との連携を強化し、地域の見守りの力を高めました。また、孤立しやすいひとり親の養育者について、貧困対策や女性の自立のための支援を行い、安定した生活につなげました。 1 児童虐待防止啓発活動の実施 (1) ほどがや区民まつり（10月）や児童虐待防止推進月間（11月）での啓発 (2) 子ども向け啓発チラシを区内の小学校に配布（11月 1,500部） 2 要保護児童対策地域協議会実務者会議の開催 (1) 地域関係機関との連携強化を目的とした実務者全体会議（6月） (2) 全体会（1回）、エリア別会議（地域ケアプラザエリア別、全7回 215人） 3 女性のDV・離婚等のための弁護士相談の実施（年36回、31件） 区民まつり（R7.10）
3 こどもが主役！地域の魅力体験事業～みんなで育む元気ながやっこ～ 《地域振興課》 【予算：2,904,000】 【決算：2,734,103】	未来を担うこどもたちが健やかに成長できる環境の実現を図るため、横浜国立大学や神奈川フィルハーモニー管弦楽団、横浜FCとの連携事業や区内の貴重な水田を使用した事業など、地域の資源を活用したこども向け事業を実施しました。 また、大学生や地域のボランティアに事業の運営を担ってもらうことで、参加児童との世代間交流を促進しました。 1 横浜国立大学と連携した体験学習（通年） (1) 国大の教員による小中学生を対象とした体験教室の開催（夏期16回 延295人、冬期10回 延111人） (2) 国大生の企画・運営による小学生を対象とした体験学習の実施（がやっこ探検隊：年間7回 64人、わくわくサタデー：5回 延506人） 2 ほどがや☆元気村（水田を活用した農業体験等、通年13回 40人） 3 神奈川フィルハーモニー管弦楽団と連携した区内中学校吹奏楽部でのワークショップ及び成果発表の実施（3校程度、7～3月） 4 横浜FCと連携したスポーツ体験会（5月11日、97人 10月25日、38人） 5 子ども会育成者研修の実施（通年） わくわくサタデー（R7.7）

事業名	事業内容
4 知ってつながる、障害児地域交流推進事業 《こども家庭支援課》 【予算：260,000】 【決算：133,217】	障害児が本人の特性やライフステージに応じて充実した地域生活を送れるような場を提供するとともに、区民に対し「知ってつながる」をテーマに啓発講座を開催し、障害と障害児への理解を深める機会を作りました。 1 長期休み期間プログラムに対する支援 地域ケアプラザや地域活動ホーム等が実施主体となる長期休み期間の地域交流・啓発講座の開催（年2回） 7月「楽しく踊ろう！グラスアートを作ろう！」 8組 3月「障害者事業所におけるワークショップ」 6組 2 関係機関等の既存媒体を活用した啓発の強化（通年） 自立支援協議会こども部会と連携して区内障害児通所支援事業の案内（ほどぴっこ）を作成 ほっとふれんず夏（R7.7） 
5 障害者いきいき地域生活支援事業 《高齢・障害支援課》 【予算：806,000】 【決算：779,446】	障害のある人もない人も、住み慣れた地域で安心して生活することができるよう、障害者支援機関が課題解決に向けて話し合う保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会の円滑な運営を支援しました。 また、障害者のさらなる社会参加を進めるため、障害者施設の自主製品の販路拡大や受注機会確保に向けたサポートを行いました。 1 障害者の地域生活支援 (1) 自立支援協議会の活動・運営支援（通年） (2) 出張販売会など自主製品の販売促進支援（通年、16事業所が参加） ・区役所（通年、160回程度開催、各月8事業所程度出店） ・イオン天王町（通年、月1回開催、各回8事業所程度出店） ・星川駅前マルシェ（5月21日～23日、10月20～24日、各日6事業所程度出店） ・西谷浄水場（6月25日、9月24日、1月28日、各日3事業所程度出店） ・横浜ビジネスパーク（9月以降、月数回開催、各回2事業所程度出店） 星川駅前マルシェ（R7.10） 

事業名	事業内容
6 輝けシニア！2025事業 《高齢・障害支援課》 【予算：1,698,000】 【決算：1,646,703】	高齢者が可能な限り地域で自立した生活が送れるよう、その人の状態に応じた健康づくり・介護予防及び社会参加等を支援するとともに、本人・家族及び地域の支え合いや介護、医療、関係機関の連携を進めました。 1 きらり☆シニア事業 ・住民主体の健康活動グループ「きらり☆シニア塾」啓発ショート動画の作成（3月） ・新規団体の募集・活動支援（通年） ※7年度1団体新規認定、累計110団体認定 2 老人クラブ支援（共催事業） - ことぶき大学（6月23日）、かがやき作品展（10月22～26日）、かがやき囲碁・将棋大会（1月29日）の開催 3 認知症高齢者等の支援 (1) 幅広い世代、組織への認知症サポーター養成講座の開催（通年、1,974人受講、累計31,745人） (2) 区民への認知症に対する理解、対応、見守りの普及啓発 ・養成講座修了者に「ほ도가やオレンジロバ」の反射板の配布(3000個) ・区民向け認知症啓発講演会（9月25日、247人参加） ・区民まつりに認知症普及啓発ブースの出展（10月25日） 4 地域包括ケアシステムの推進 ・区アクションプランを活用した普及啓発(通年) ・区内全地域包括支援センター（8か所）の職員と区職員による地域ケア会議従事者研修の開催（8月28日）   ほ도가やオレンジロバ / 反射板

事業名	事業内容
7 ほどがや歯科口腔保健推進事業 《福祉保健課》 【予算：2,441,000】 【決算：2,339,543】	歯の生え始めからのむし歯予防、成人期以降の歯周病予防、そして、オーラルフレイル予防まで、生涯にわたって口腔内を健康に保っていくために世代に応じた手法により啓発しました。また、セルフケアと両輪となる歯科医院による専門的口腔ケアにつなげるため、歯科定期健診の受診促進に取り組みました。 1 セルフケア意識の向上に向けた普及啓発 (1) わくわく親子健康フェスタの開催（6月15日 星天qlayイベント 212名、7月6日 こども歯科医師体験 親子9組） (2) 歯っぴいパクパク1歳児の開催（月1回 計85組 173名） (3) 区民まつりや地域イベント、出前講座等 2 専門的口腔ケア（プロケア）受診の促進 歯科医師会と共同で受診促進の記事をタウンニュースに掲載（R8.1月）、歯科イベントにて配布用にマグネットを作成 3 歯科口腔保健推進キャラクター「すみれちゃん」を活用した啓発（通年） わくわく親子健康フェスタ（R7.6） かかりつけ歯科医啓発マグネット

事業名	事業内容
8 ほどがや健康生活応援事業 《福祉保健課》 【予算：2,693,000】 【決算：2,612,583】	「働き・子育て世代」（20～50代）を中心とした区民を対象に、健康に関する情報発信と啓発を行いました。 1 各種イベント等を通じた啓発 ・ほどがや花フェスタ（5月） ・イオン天王町フレイル予防イベント（7月） ・区民まつり（10月） ・横浜国立大学学園祭（11月） ・春のスポーツフェスティバル（3月）他 2 健康経営推進事業 （1）横浜健康経営認証事業の周知（区内事業所向け）（6件） （2）認証を受けている事業所の継続支援（2件） 3 HODO HOKO 推進事業 （1）保健活動推進員向け HODO HOKO 啓発講演会（4月23日） （2）イベント等における HODO HOKO 歩幅体験・啓発（通年） （3）普及啓発のための人材育成 春のスポーツフェスティバル HODO HOKO 歩幅体験（R8.3）

事業名	事業内容
9 スポーツの街ほ도가や推進事業 《地域振興課》 【予算：3,679,000】 【決算：3,653,312】	スポーツ推進委員や区スポーツ協会と連携して、年齢・性別問わず区民の誰もがスポーツに親しみ、交流できる環境づくりを推進しました。幅広い年代が参加できる大会の実施を通じて、区民の健康を維持し、スポーツへの関心を高めました。また、保土ケ谷区をホームタウンとして活動するプロスポーツチームである横浜FCとの協働により、まちの活性化を図りました。 1 地域におけるスポーツ推進 (1) 少年少女球技大会（7月5日、6日 参加者 576 人） (2) グランドゴルフ決勝大会（12月）※悪天候により中止 (3) かるがもファミリーマラソン大会（2月15日 申込者 913 人、完走者 585 人） (4) ほ도가やスポーツ祭り（3月1日 参加者延べ 746 人） 2 プロスポーツチームとの連携 (1) 横浜FC：ほ도가や区民DAYの開催（5月25日） (2) 横浜エクセレンス：保土ケ谷区民デーの開催（3月6日、7日） 3 e スポーツ推進事業 イベント等の機会を捉えて、誰でも気軽にプレイができる体験会として区民まつり、星天qlayにブース出展をしました。 第34回かるがもファミリーマラソン大会（R8.2）

Ⅱ 暮らしの安全・安心

【19,568,183円】

誰もが安全に、安心して暮らせるよう、地域防災力の強化や将来の地域防災の担い手育成、災害時の体制強化などの災害対策を推進するほか、地域防犯力の向上、交通安全対策、食の安全などに取り組みました。

事業名	事業内容
10 災害対策推進事業 【20万区民の自助・共助による減災運動】 《総務課》 【予算：10,137,000】 【決算：9,762,370】	区民の自助・共助の意識向上や地域の防災力強化を図るため、効果的な広報啓発や将来の地域防災の担い手育成等を行いました。 また、区災害対策本部などの危機管理体制の強化に取り組みました。 1 地域防災力の強化・地域防災の担い手育成 (1) 地盤品質判定士等専門家による崖地所有者向けの相談会の実施(11月5・9日 計10組) (2) 区内小中学校向けの出前授業の実施(小学校4校/中学校6校 計2,023人) (3) 官学協働(区・消防署・横浜国大)による若者向けの啓発動画の制作・発信(12月) (4) 災害時ペット対策物品(一時飼育場所開設キット)の全27拠点への配布を実施 (5) 防災講習会への外部講師や職員の派遣による地域の防災活動の支援(通年) (6) 障害福祉事業所への委託による災害時要援護者名簿の作成及び協定締結自治会町内会への提供(45自治会) (7) 民間企業及び保土ヶ谷消防署との協働による熱中症対策駅頭広報の実施(7月) 2 危機管理体制の強化 (1) 災害時に備えた訓練・研修等による区本部体制の強化(通年) (2) 関係機関との連絡体制の構築(通年) (3) 区本部用資機材の整備、避難場所の環境改善(熱中症対策等)(通年) (4) 河川水位警報システムなど防災関連システムの運用・保守管理(通年)



国大 BOSAI ラボ 防災啓発動画



熱中症対策駅頭広報

事業名	事業内容
11 交通安全対策事業 《地域振興課》 【予算：3,342,000】 【決算：3,494,190】	交通安全運動や交通安全教育を実施して交通事故の防止を推進しました。 1 交通安全教育・啓発 (1) はまっ子交通安全教室の実施（16校） (2) 三世代交通安全教室の実施（3団体220名） (3) パンダマークの配布（189枚） (4) ランドセルカバー等の啓発物品の配布（反射材：1,445個 区内19校）（ランドセルカバー：1,407枚 区内19校・特別支援学校2校） 2 交通安全対策 (1) スクールゾーン対策協議会の開催（全22校 隣接区4校含む） (2) 電柱巻標示や路面標示の設置（新規電柱巻き2か所 路面標示補修13か所） 3 自転車等放置防止対策 保土ヶ谷・西谷・星川・和田町・上星川駅自転車等放置防止推進協議会に地区活動補助金の交付  三世代交通安全教室（R7.10）
12 地域防犯力向上事業 《地域振興課》 【予算：4,871,000】 【決算：4,757,054】	街頭犯罪を防止し、安心・安全・快適なまちづくりを進めるため、警察、地域、関係団体と連携して地域の防犯力を向上させる取組を実施しました。 1 地域防犯力の向上 (1) 防犯物品の配布（7～3月、配付団体数42団体） (2) 防犯コンクールの開催による防犯啓発（7～10月、応募作品数242句） (3) こども110番あんしんの家支援（通年、協力者数689軒） 2 防犯センターの運営（通年）  防犯川柳コンクール 最優秀作品ポスター

事業名	事業内容
13 暮らしの衛生サポート事業 《生活衛生課》 【予算：709,000】 【決算：651,450】	生活衛生に関する最新情報や正しい知識についてわかりやすくお知らせし、区民の安全・安心な食と生活環境づくりを支援しました。 1 暮らしの衛生サポート (1) 飲食店や区民への食中毒予防のための啓発物品の配布（通年 1,415 部） (2) 犬・猫の飼い主に対する適正飼育に関する情報の提供（区民祭り：10 月、ペット防災講座（はぐくみ塾）：11 月、広報よこはま：6 月・7 月・9 月・2 月・3 月）  食中毒予防キャンペーン（R7.10）
14 ほ도가や環境にやさしいライフスタイル推進事業 《区政推進課・地域振興課》 【予算：1,098,000】 【決算：903,119】	2050 年脱炭素社会の実現や GREEN×EXPO 2027 の開催に向け、環境にやさしいライフスタイルへの区民の行動変容を促すため、環境をテーマとした区民向けの講座やイベントを開催しました。また、プラスチック類などの燃やすごみを減らし、温室効果ガスの発生を抑制するため、ごみと資源物の分別などについて、イベントや区民向けの相談会で周知しました。 1 環境にやさしいライフスタイルの浸透に向けた啓発 (1) 企業と連携したこども向けエコ教室の開催（2 回 8 月 4 日、8 日 参加者 29 人） (2) 公立保育園でのたねダンゴワークショップの開催（3 回 11 月 6 日、13 日、28 日 参加者約 140 人） (3) 区内イベントでの横浜グリーンエキスポと連携した子ども向けエコワークショップ（3 月 22 日 参加者 73 人） (4) 広報よこはまや SNS 等での情報発信・啓発（通年） 2 プラスチックや食品ロス削減に向けた啓発 (1) 各種イベントや分別教室等での啓発実施（通年） (2) 自治会等地域清掃用ごみ袋の配布（通年）  エコ教室の様子（R7.8）  横浜国立大学学生寮での分別啓発（R8.3）

Ⅲ つながり・支えあいの推進

【19,941,934円】

地域のつながり・支えあいの推進のため、地域の活動支援や担い手育成に取り組みました。また、保土ケ谷ほっとなまちづくり（地域福祉保健計画）の推進に取り組み、また次期計画を策定しました。

事業名	事業内容
15 保土ケ谷ほっとなまちづくり推進事業 《福祉保健課》 【予算：2,166,000】 【決算：2,072,206】	第5期保土ケ谷ほっとなまちづくり（区地域福祉保健計画）を策定するため、ほっとなまちづくり推進会議の開催や区民意見募集等を行いました。策定した計画は、ほっとなまちづくりフォーラムにて公表しました。 また、各地域が抱える様々な課題に対し主体的に取組を進められるよう、地区支援チームが支援しました。 1 保土ケ谷ほっとなまちづくりの推進 (1) ほっとなまちづくり推進会議の開催（6・11月） (2) 素案の区民意見募集の実施（10月） (3) 地区別計画の作成支援（4～10月） (4) ほっとなまちづくりフォーラムの開催・計画公表（3月） ほっとなまちづくりフォーラム（R8.3）
16 自治会町内会支援事業 《地域振興課》 【予算：3,500,000】 【決算：3,061,739】	地域活動の担い手である自治会町内会において、住民主体の活動が継続・安定的に行われるよう、自治会町内会の負担軽減に配慮しつつ支援を行いました。 1 自治会町内会の負担軽減（配送ルートによる資料送付）（通年） 2 自治会町内会長感謝会の開催（2月25日） 自治会町内会長感謝会（R8.2）

事業名	事業内容
17 市民活動支援事業 《地域振興課》 【予算：3,820,000】 【決算：3,619,400】	地域で活動する区民や団体間の連携・協働を図り、まち全体の活性化を進めるため、市民活動・生涯学習活動の拠点となる「市民活動支援センター」の運営を行いました。 1 市民活動支援センター「アワーズ」の運営支援（通年） (1) 人材育成や市民活動の連携強化 ・ほ도가やサンプラザプロジェクト（年20回、参加者数：延べ239人） ・防災講座（連続2回講座）（参加者数：延べ25人）ほか (2) 相談・コーディネート (3) 場の提供・機材の貸出 防災講座（R7.10）
18 区民会議との住み良いまちづくり協働事業 《区政推進課》 【予算：679,000】 【決算：479,445】	「地域のつどい」、「区民のつどい」の開催や、区民会議の活動を広く区民にお知らせするニュース「やまびこ」の発行などを、区民会議と協働により実施しました。 1 区民会議の活動支援 (1) 「地域のつどい」の開催支援（6月：6会場555人） (2) 「区民のつどい」の開催支援（11月） (3) 区民会議広報「ニュースやまびこ」の発行（7月、3月） (4) 分科会の活動支援（通年） 地域のつどい（R7.6）
19 ほ도가や区民まつり 《地域振興課》 【予算：6,000,000】 【決算：5,953,378】	区民や区内の団体同士の交流を深め、地域のつながりを活性化することを目的に、区民中心の企画運営による「区民まつり」を開催しました。 1 ほ도가や区民まつりの開催 【令和7年度実績】 実施日：10月25日（土） 来場者数：30,000人 ほ도가や区民まつり（R7.10）

事業名	事業内容
20 地域見守り推進事業 《福祉保健課》 【予算：2,453,000】 【決算：2,049,480】	ひとり暮らし高齢者等が地域でつながりを持ち、孤立せずに安心して暮らすことができるよう、民生委員・児童委員のほか、地域にお住まいのあんしん訪問員（ボランティア）による見守りを行いました。 また、民生委員・児童委員の負担軽減等を図るため、委員を補佐する協力員を配置するとともに、3年に一度の一斉改選に向け、活動や委員活動のやりがいについて広く区民の理解を深めるための広報・啓発を行いました。 1 あんしん訪問事業 (1) あんしん訪問員活動への支援（通年） ・見守り活動：約 11,500 回 あんしん訪問員：510 名 (2) あんしん訪問事業地区研修会の開催支援（2 地区） (3) 地区推進委員会への補助金交付（7 月） 2 民生委員・児童委員協力員の委嘱・活動支援 ・協力員の委嘱（通年・計 57 名） ・ポスター・チラシによる啓発（通年） 3 民生委員・児童委員活動に関する広報・啓発 ・活動強化週間における区庁舎内でのポスター掲示（5 月） ・啓発物品の作成（2 月） 訪問による見守り活動
21 地域の担い手はぐくみ事業 《地域振興課》 【予算：1,340,000】 【決算：978,756】	区民が地域に関心を持つきっかけを作り、地域活動に参加する機会を設けることで、協働の担い手となる人材の発掘・育成を行いました。また、区民利用施設同士が連携して地域活動を活性化する体制を作りました。 1 区民向けの講座・支援 (1) 参加者同士の交流を図りながら、協働や講座の企画・運営方法、より実践的なスキルを学ぶ講座の実施（5～6 月、13 人） (2) 興味関心の高いテーマで、社会参画のすそ野を広げる講座の実施（1～3 月、90 人） (3) 区民が主体的に地域課題に取り組み、講座の企画・運営すること（区民企画型講座 3 講座×4 団体）を支援（通年） (4) 区内活動団体による地域活動に係る取組の支援（通年） 2 区民利用施設職員向けの研修・支援 施設間の連携強化と職員のスキルアップ、コーディネート力の向上を目的とした研修の実施（11～1 月） はぐくみ塾（R7. 5）

事業名	事業内容
22 多文化共生まちづくり事業 《区政推進課・地域振興課》 【予算：1,187,000】 【決算：751,052】	外国人住民と地域との交流を支援・促進し、誰もが住みやすいまちの実現に向け、横浜国立大学やほ도가や国際交流ラウンジ等の関連団体と連携した取組を推進しました。また、ブルガリア共和国ソフィア市とのパートナー都市協定に基づき、ソフィア市との交流を一層促進しました。 1 多文化共生の推進 (1) 職員の意識向上に資する研修の実施（5～8月） (2) 横浜国立大学留学生の地域イベント等への参加支援（7～8月） (3) 多文化共生フェスタでのブース出展（11月） 2 ブルガリア文化の区民向けイベントの開催（通年） (1) ほ도가や花フェスタへの出演及びブース出店（5月18日） (2) 区民ギャラリーでの展示（6～7月） (3) 区民まつりへのブース出店（10月25日） (4) 地区センター（2施設）でのブルガリア料理教室の実施（12月5日・12日） 合計21名参加 (5) 保土ケ谷区民芸能祭への出演（1月18日） 3 国際理解特別授業の実施（1～3月） (1) 区内小学校（4校）における国際理解特別授業及びブルガリアメニュー給食提供の実施（2月2日・4日・5日・9日） (2) 区内小学校（1校）とソフィア市第18学校とのオンライン交流実施（3月5日） 留学生の地域イベントへの参加（R7. 8） ブルガリア料理教室（R7.12）
23 地域におけるデジタル活用推進事業 《区政推進課・地域振興課》 【予算：2,002,000】 【決算：976,478】	自治会町内会の活性化及び負担軽減を目的に、自治会町内会活動におけるデジタル活用を推進しました。 1 自治会町内会におけるデジタル化推進 (1) デジタルツール等に関する研修会・ワークショップなどの開催（8月（2回）、9月（2回）、1月、2月） (2) 区内の活用事例やデジタルツールの使い方などの情報発信（6月、11月、3月） (3) 情報伝達アプリ等の導入支援（9月） 【差引の主な理由】 ・「報償費での対応により1回あたりの費用が大幅に削減されたこと」、「単位自治会対象の集合研修及び個別のアドバイザー派遣から連合を対象とした出前講座にスキームを見直したことで、研修・講座の実施回数が減ったこと」から、結果的に費用を削減できました。 ・情報伝達ツールアプリ導入補助金の申請団体数が想定を下回りました。 出前講座の様子（R7. 8）

Ⅳ 魅力と賑わいのあるまちづくり

【22,368,059円】

2027年(令和9年)の区制100周年及びGREEN×EXPO 2027に向けて、「ほどがや花憲章」に基づく花の街づくりや、自然や歴史、地域資源を生かした取組を推進し、区の魅力向上と機運醸成を図りました。

事業名	事業内容
24 区制100周年事業	令和9年に迎える区制100周年に向けて、機運醸成を図るとともに、実行委員会を中心として「こども・魅力・つながり」の3つのテーマに沿った事業を進めました。 また、区役所事業でも、幅広い区民の参加を促しながら共に取り組むことで、次の100年に向けた区の魅力を向上させ、「『いつまでも住み続けたいまち ほどがや』を未来へ」の実現を図りました。 1 実行委員会事業 (1) 実行委員会及び役員会の開催 (2) 活動団体補助制度(5～3月) (3) 「ほどがやの百選」の選定(5～9月) (4) 記念誌発行に向けた準備(5月～) (5) 区制100周年ロゴマークの作成(10月) 2 区役所事業 (1) こども事業 ・がやっこ体操 普及活動(区民まつり、振り付け練習用動画のYouTube配信 他) ・こども未来プロジェクト ブース出展(区民まつり) など (2) 魅力事業 ・区公式Instagramフォトコンテスト2025の開催(7～1月) ・記念レシピ集の作成(R9年発行) (農家のおすすめレシピ取材など) ・区公式マスコットキャラクターの運用(通年) (区民まつりでの着ぐるみお披露目、イベント出演、他区マスコットキャラクターとのSNS連携発信など) (3) つながり事業 ・区の歌 「わがまち、保土ヶ谷」の普及、区の歌広め隊による活動など ・デザインマンホール デザイン案の作成、発表(3月)



令和7年度フォトコンテスト最優秀賞作品

《地域振興課・区政推進課・福祉保健課・こども家庭支援課・総務課》

【予算：5,862,000】

【決算：6,746,560】

事業名	事業内容
25 花薫るきれいな街ほどがや事業 (GREEN×EXP02027 連携事業) 《地域振興課・総務課・高齢・障害支援課》 【予算：7,500,000】 【決算：6,966,653】	平成10年に地域の皆様とともに制定した「ほどがや花憲章」に基づく「花の街ほどがや」づくりを一層推進するとともに、全市を挙げて準備を進めている横浜グリーンエキスポの開催に向けた機運醸成を進めました。また、花を通じて障害者の社会参加の促進を図りました。 1 花の街事業 (1) 区民ボランティア（「ほどがやフラワーメイト」等）による星川中央公園や区庁舎花壇整備（毎月2回）や和田町駅前花壇整備（随時） (2) 幼稚園や保育園、小中学校に花苗を配布し、花を育てる機会を創出し「ほどがやフラワーメイトジュニア」として任命（春・秋／年2回配布）し、広報等で広く区民に取組を周知し花の街づくりをPR (3) バッグ型コンポストの貸し出しによる区民参加型の家庭ごみの堆肥化・花の植え付け（7月 15名参加） (4) 啓発物品等を用いた「ほどがや花憲章」及び横浜グリーンエキスポの普及・啓発（花フェスタ、区民まつり他） 2 ほどがや花の街推進連絡会推進事業 ほどがや花フェスタ2025の開催（5月18日(日)） 来場者数 12,000人 3 ほどがや花のおもてなし事業 (1) 区内の障害福祉事業所によるフラワーアレンジメントの展示（区役所窓口（14か所）・週1回・通年） (2) 交流会の開催（11月26日・5事業所参加） ほどがや花フェスタ2025 (R7.5)
26 歴史浪漫ほどがや事業 《区政推進課》 【予算：4,139,000】 【決算：3,864,822】	旧東海道の宿場町に代表される保土ケ谷区ならではの歴史的魅力を生かしたまちづくりを、区民との協働で進めました。 1 歴史的魅力を生かしたまちづくり (1) こどもを対象とした歴史の魅力を伝えるイベントの開催（11月） (2) まちあるきイベントの開催（2月） (3) 歩きたくなる街道づくり（松並木の維持管理（12月）、育成計画の見直し（2月）、案内サイン等の維持管理（2月） 松並木の維持管理

事業名	事業内容
27 星川駅周辺の魅力づくり事業 《区政推進課》 【予算：1,000,000】 【決算：1,000,000】	「星川駅周辺地区総合的なまちづくりガイドライン」に掲げる、「利便性が高く魅力あふれるまち」づくりを進めるため、星川駅～天王町駅間の高架下空間の活用やその周辺の地域資源を生かした魅力向上を図る取組を高架下事業者や地域団体等と連携して実施しました。 1 星川駅高架下等を活用した賑い創出 (1) 星川駅～天王町駅間高架下周辺等を中心とした賑いに資するイベントの開催（3月参加者3会場（5か所集計）延べ約5,000人） (2) イベント開催に向けて地域で活動する団体等と協働体制の確立（会合等の実施）（9月、11月、2月） (3) イベント当日の会場装飾を住民参加で制作するワークショップの開催、制作した装飾は地域の商店街等にご協力いただき、展示を行っています。 住民参加によるイベント装飾の制作 
28 商工業魅力発信事業 《地域振興課》 【予算：930,000】 【決算：899,929】	地域コミュニティの担い手である商店街の活性化を図るため、区商店街連合会に加盟する商店および商店街をPRする取組を実施しました。また、横浜FCと連携を取りながら、商店街振興を支援しました。さらに、工業振興として、子どもを対象に区内ものづくり企業の魅力をPRする「ほ도가やこどもファクトリーツアー」を実施しました。 1 商店街の活性化支援 (1) 区商連及び横浜FCと連携した「ほ도가やクイズラリー」の開催（2～3月） 応募総数325通 (2) ほ도가や商店街元気市の開催（5月18日、10月25日） 2 ほ도가やこどもファクトリーツアーの開催（3月26日、21組43名） 【協力企業】シナノ紙工株式会社、協同工業株式会社 こどもファクトリーツアー（R8.3） 
29 地産地消推進事業 《区政推進課》 【予算：368,000】 【決算：328,565】	農家や地域活動団体との連携により、区民が「農」を身近に感じられる取組を通じて、地産地消を推進しました。 1 地産地消の推進 (1) ほ도가や朝市の開催（14回） (2) 花フェスタ、区民まつりでの地産地消のPR（5月、10月） (3) 地域活動団体等主催イベント等での啓発活動（通年） ほ도가や朝市の様子（R7.7） 

事業名	事業内容
30 読書活動推進事業 《地域振興課》 【予算：782,000】 【決算：747,523】	区役所・図書館・学校・区民利用施設等が連携し、身近で読書に親しむ環境づくりや講座、読書活動の啓発などを実施することで、保土ケ谷区民の読書活動を推進しました。 1 読書活動の推進 (1) 読書活動推進講演会の開催（12月） (2) 読書活動推進会の開催（5月、11月、2月） (3) 区民利用施設等での絵本セットの貸出（通年） 読書活動講演会（R7.12）
31 ほ도가や芸術の街 《地域振興課》 【予算：1,942,000】 【決算：1,814,007】	保土ケ谷区内の文化活動による地域振興を目指して、区民文化祭、区民ギャラリー、区民密着型コンサートの各事業を実施しました。 1 区内文化活動の振興・支援 (1) 区民コンサート（7月27日、来場者数 434人） (2) 区民文化祭（9～R8.2月）（参加団体数：9団体、総入場者数：3,390人） (3) 区民ギャラリーでの作品展示（通年） 区民コンサート（R7.7）

V 信頼される区役所づくり

【18,013,197円】

区民の皆さまに寄り添ったきめ細かな窓口サービスの充実や、安心して快適に利用することができる区庁舎の環境改善を進めました。また、様々な媒体を活用しながら行政情報を分かりやすく発信しました。

事業名	事業内容
32 区役所サービス向上・環境改善事業 《総務課》 【予算：10,220,000】 【決算：17,059,471】	区民の皆様が利用しやすい区役所を目指し、安心して快適に利用できる施設環境の整備・改善を進めるほか、区民のニーズを的確に捉え、より満足度の高い窓口サービスを実現するための職員研修等を実施しました。 1 区庁舎の環境改善 (1) 施設・設備の改修等による区庁舎環境改善（通年） ・区民利用施設の別館への移転に伴う内装改修・移転作業を実施 (2) 戸籍課レイアウト変更に伴う執務室整備（10月） (3) 来庁者にとって分かりやすい案内サイン更新（10月・3月） 2 執務室・会議室等におけるデジタル環境の整備（通年） 3 窓口サービス向上のための職員研修の実施 (1) 職員のスキルアップ研修の実施（通年） (2) 人権啓発研修の実施（6～1月） 【差引の主な理由】 戸籍課レイアウト変更や区民利用施設の別館への移転整備を行ったこと等により、委託料が増加しました。 リニューアル後の区庁舎別館2階
33 広報推進事業 《区政推進課》 【予算：1,694,000】 【決算：953,726】	保土ケ谷区の様々な情報や魅力を、多角的な広報活動により発信しました。 1 広報・情報発信 (1) 転入者向け行政情報・マップ等の配布（通年） (2) デジタル媒体（X・インスタグラム・サイネージ等）による区政情報・区の魅力発信（通年） (3) 保土ケ谷区ガイドマップの更新・配布（通年、9,500部発行） (4) 職員向け広報マインド醸成研修の実施（9月11日）15人参加 (5) 保土ケ谷区に関する各種統計情報「保土ケ谷区統計便覧」の発行（3月） デジタルサイネージでの区政情報の発信

(3) 統合事務事業費 執行実績

(単位：円)

統合事務費 【25, 919, 446円】	
統合事務費 【予算：26,567,000】 【決算：25,919,446】	区役所運営に必要な事務経費を一括管理し、厳しい財政状況の中、効率的・効果的な事務経費の執行に取り組みました。
統合事業費 【17, 134, 653円】	
事業名	事業内容
1 広報よこはま発行事業 《区政推進課》 【予算：10,075,000】 【決算：7,609,537】	「広報よこはま ほどがや区版」を毎月発行し、市民が必要とする区政・事業等の行政情報を、分かりやすく正確に広報しました。(通年)  広報よこはま ほどがや区版
2 広聴の相談事業 《区政推進課》 【予算：725,000】 【決算：725,000】	区民が抱える生活上の問題・悩み（離婚・相続・相隣問題等）の解決に結びつけるため、法律相談等の機会を提供しました。(通年)

事業名	事業内容
3 消費生活対策事業 《地域振興課》 【予算：101,000】 【決算：99,000】	地域社会の安全で快適な消費生活を実現するため、街頭キャンペーン等の消費生活関連啓発活動等により、悪質商法対策や消費生活向上に向け普及啓発を行いました。（通年） 消費生活教室（1月28日 42名）  消費生活教室（R8. 1）
4 緊急時情報システム事業 《総務課》 【予算：375,000】 【決算：359,040】	即時避難指示対象区域に居住する区民に対し、区から防災に関する緊急情報を固定電話回線を使用した自動音声により通知し、迅速な避難行動を促しました。（通年）
5 スポーツ推進委員事業 《地域振興課》 【予算：3,540,000】 【決算：3,499,953】	スポーツイベントの開催などを通して、区民の心身の健康育成や体力の向上等を図りました。また、スポーツ活動を推進する人材の力量・知識、活動の認知度向上のため、研修及び広報活動を行いました。（通年）  スポーツ推進委員研修会 (R7. 9)

事業名	事業内容
6 青少年指導員事業 《地域振興課》 【予算：3,910,000】 【決算：3,716,087】	青少年を対象とした事業を実施し地域交流を促進するほか、夜間パトロール等により青少年を取り巻く環境を保全し、青少年の健全育成に寄与することを目指し活動しました。また、青少年の健全育成活動を推進する青少年指導員の資質向上のための研修や、活動を広く周知するための広報誌を作成することで、担い手の発掘・育成を行いました。（通年） 1 青少年対象事業 (1) 手作り紙ヒコーキ大会（7月27日 参加者：121名） (2) 子ども科学教室（10月25日 来場者：600名） (3) ほどがやバンドバトル（11月15日 14バンド65名、高校生スタッフ34名） (4) オセロ大会（1月25日 参加者：38名）  オセロ大会（R8. 1）
7 学校・家庭・地域連携事業 《こども家庭支援課》 【予算：960,000】 【決算：960,000】	青少年の非行防止や健全育成を推進するため、学校・家庭・地域が連携し地域の特性を生かしながら自主的に実施する事業を支援しました。（通年）
8 健康づくり月間事業 《福祉保健課》 【予算：179,000】 【決算：166,036】	9月から11月までを健康づくり月間と位置づけ、保健・衛生に関する正しい知識の普及、健康寿命の延伸に向けた健康意識の啓発、各団体と行政が連携した健康づくり運動に取り組みました。（9～11月）  区民まつりにおける区医師会出展（R7. 10）

(4) 区庁舎・区民利用施設管理費執行実績

(単位：円)

事業区分	予算額	決算額	差 引	差引の主な理由
区庁舎・区民利用施設 管理費				
区庁舎	112,757,000	107,523,640	5,233,360	光熱水費実績によるの減
ほどがや 市民活動センター	26,225,000	26,225,000	0	
土木事務所	10,137,000	9,481,455	655,545	車両再リースによる減
公会堂	62,299,000	62,298,000	1,000	
地区センター等	384,537,000	386,404,294	△1,867,294	コミュニティハウスの空調機修繕対応経費に伴う増
広場・遊び場	2,388,000	2,242,088	145,912	実績による減
区庁舎・区民利用施設 修繕費	4,685,000	5,348,459	△663,459	実績による増
合 計	603,028,000	599,522,936	3,505,064	

2 令和 8 年度保土ヶ谷区個性ある区づくり推進費執行状況について

施策分野・事業名	8 年度予算
魅力と賑わいのあるまちづくり	9, 470 千円
区制 100 周年事業（総務課ほか）	

事業概要(目的)

令和9年に迎える区制 100 周年に向けて、機運醸成を図るとともに、実行委員会を中心として「こども・魅力・つながり」の3つのテーマに沿った事業を進めていきます。

また、100 周年を機に、幅広い区民の参加を促しながら共に活動していくことで、次の 100 年に向け区の魅力を向上させ、「『いつまでも住み続けたいまち ほどがや』を未来へ」の実現を図ります。

1 実行委員会事業

(1) 実行委員会及び役員会の開催

- ・7月 10 日に第1回役員会を開催（第二弾保土ヶ谷の逸品、広報制作物 他を決定）
- ・第2回役員会 9月 15 日開催予定

(2) 区制 100 周年ロゴマークの周知・活用(随時)

- ・100 周年のシンボルとして、広報配布物や貸出物品への掲載・活用の促進
- ・ポスター掲出や啓発物品の配布による周知

(3) 「ほどがやの百選」

- ・「保土ヶ谷の逸品」第二弾の認定を実施、デジタルマップの更新(7月)
追加認定数:47 商品(合計 110 商品を認定)
- ・「保土ヶ谷の逸品」第一弾・第二弾を紹介する冊子の発行(令和9年 2 月)



「ほどがやの百選」



令和 8 年第 3 回 保土ヶ谷区区づくり推進横浜市議員会議

2 令和8年度保土ヶ谷区個性ある区づくり推進費執行状況について

施策分野・事業名	8年度予算
魅力と賑わいのあるまちづくり	9, 470 千円
区制 100 周年事業（総務課ほか）	

(4) 区制 100 周年記念誌の制作

- ・5月 14 日及び7月 13 日に記念誌委員会を開催(内容の検討 他)
- ・区の歴史や魅力がつまった思い出の写真・エピソードを募集(令和7年8月末～令和8年8月末)
(写真・エピソード:55 件、対面によるインタビュー:10 件)
- ・第7回記念誌委員会 10 月2日開催予定

(5) 活動団体補助制度

- ・7月6日に第1回審査委員会を開催 15 団体に交付決定(継続:9団体 新規:6団体)
- ・審査会の開催・団体への交付(随時)

(6) 協賛募集開始(目標金額 21,000 千円)

- ・事業の充実を図るため、区内企業を中心に協賛の依頼を実施

(7) クラウドファンディングの実施 (10 月～)

- ・ポストラッピング(1基) (目標累計金額 700 千円)
- ・ほどびー着ぐるみ(1体)(同 2,550 千円)
- ・100 周年記念花火 (同 9,600 千円)

(8) 「保土ヶ谷区制プレ 100 周年記念事業」名称使用(随時)

- ・申請件数:41 件(8月 14 日現在)



ポストラッピング (イメージ)



ほどびー着ぐるみ (イメージ)



100 周年記念花火 (イメージ)

2 令和8年度保土ヶ谷区個性ある区づくり推進費執行状況について

施策分野・事業名	8年度予算
魅力と賑わいのあるまちづくり	9, 470 千円
区制100周年事業（総務課ほか）	

(9) 記念式典【令和9年10月2日】

- ・7月10日に第1回式典委員会を開催
(第一部:表彰・カプセル開封 他 / 第二部:石田泰尚さんによる記念コンサート 他)
- ・第2回式典委員会 9月15日開催予定 / 第3回式典委員会 11月頃開催予定

(10) 祝祭コンサート【令和9年10月17日】

- ・合唱団員を10月から募集(200名程度)

(11) 記念パレード【令和9年11月21日】

- ・6月26日に第1回パレード委員会を開催(開催日やルート等の検討)
- ・第2回パレード委員会 9月4日開催予定

(12) 広報関係

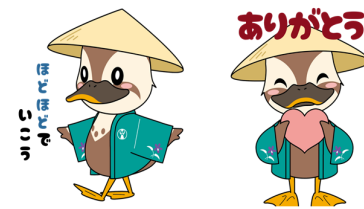
- ア 100周年通信の発行(不定期配信 4件程度)(随時)
- イ メールマガジンの発行(1通/月程度)(随時)
- ウ 100周年ポスターの掲出(公共施設等74か所、区商連店舗等813か所へポスター送付)
デザインのリニューアルを予定
- エ 100周年ピンバッチの製作(実行委員会委員への配布)
- オ 記念切手の制作準備(来年度の販売を想定)
- カ LINEスタンプの制作(令和8年10月にLINEストアにて販売開始予定)



石田 泰尚さん



区制80周年記念 区民大合唱



ほどぴーLINEスタンプ(案)

2 令和8年度保土ヶ谷区個性ある区づくり推進費執行状況について

施策分野・事業名	8年度予算
魅力と賑わいのあるまちづくり	9, 470
区制100周年事業（総務課ほか）	千円

2 区役所事業

(1) こども事業

ア 「がやっこ体操」の普及活動実施(通年)

- ・6月19日「泣いても大丈夫！コンサート」にて、市消防音楽隊による吹奏楽バージョンのお披露目 他

イ こども未来プロジェクトの活動(通年)

- ・5月12日、7月16日にオンラインミーティングを実施
(記念企画や区民まつりでのワークショップについて検討 他)
- ・次回オンラインミーティング 9月30日実施予定
- ・区民まつりにて「オリジナル缶バッジづくりワークショップ」を出店予定

(2) 魅力事業

ア 保土ヶ谷区公式マスコットキャラクター「ほどぴー」の着ぐるみや各種グッズの活用による機運醸成(通年)

イ 区公式Instagramフォトコンテストの実施

- ・作品募集(7月7日～11月1日まで)
- ・受賞作品の展示・投票(12～1月予定)

ウ 「ほどぴー」のゆるバス2026 への出場・投票参加促進に向けた周知(7月～決選投票 10月3日・4日)

(3) つながり事業

ア 区の歌普及事業(通年)

- ・ほどがや区の歌合唱団との連携による花フェスタや区民まつり等での活動及び

小学生との交流を通じた「わがまち保土ヶ谷」の普及

- ・ブルガリアピアニストと峯小学校のこどもたち、ほどがや区の歌合唱団との交流会 10月23日開催予定

イ デザインマンホールの設置(年度内予定)



がやっこ体操
(泣いても大丈夫！コンサート)



交通安全教室



ゆるバスへの出場

2 令和8年度保土ヶ谷区個性ある区づくり推進費執行状況について

施策分野・事業名	8年度予算
暮らしの安心・安全の確保	10,263 千円
災害対策推進事業【20万区民の自助・共助による減災運動】(総務課)	

事業概要(目的)

安心・安全に暮らすことができる保土ヶ谷区を実現するため、災害時の区本部体制の強化による公助の取組や、効果的な広報啓発等による自助・共助の防災意識醸成に向けた取組の実施により、危機管理・防災力の向上を図ります。

これまでの執行状況

1 区本部体制構築事業

- (1) 新たな防災気象情報の運用に伴う区本部体制の整備(避難場所の体系整理及び風水害研修の実施)
- (2) 「レベル3大雨警報発表」に伴う区災害対策警戒本部設置及び運用(計7回)
- (3) 保土ヶ谷区防災情報連絡会議(総務課、土木事務所、消防署、警察署)の開催(5月15日)
- (4) 風水害発生時における西谷浄水場への公用車両移動訓練の実施(6月12日)
- (5) 保土ヶ谷区災害対策連絡協議会の開催(7月7日)
- (6) 天王町駅周辺水害対策協議会の開催(7月24日)

2 防災・減災啓発事業

- (1) 横浜国立大学などとの協働による、各種イベントへの参加を通じた啓発(5月16日 ほどがや花フェスタ、5月24日 みんなのパークフェス)
- (2) 民間企業(株式会社伊藤園、横浜FC)及び保土ヶ谷消防署との協働による暑さ対策駅頭広報の実施(7月3日 天王町駅)
- (3) 新たなコミュニティ拠点「Sta.R」(ステーション・アール)開所プレイベントにおけるアート防災ワークショップの開催(7月25日、26日)

3 地域防災拠点支援事業

地域防災拠点管理運営委員会連絡協議会の開催(5月28日)



ほどがや花フェスタの横浜国大生(R8.5)



暑さ対策駅頭広報の様子(R8.7)

2 令和8年度保土ヶ谷区個性ある区づくり推進費執行状況について

施策分野・事業名	8年度予算
暮らしの安心・安全の確保	10,263 千円
災害対策推進事業【20万区民の自助・共助による減災運動】(総務課)	

今後の予定

1 区本部体制構築事業

- (1) 空調未整備の風水害時避難所(※)へのスポットクーラー(各施設2台)配備による避難環境の向上(9月)【拡充】
※ 3施設(富士見台小学校、上菅田中学校、橘中学校)
- (2) 区役所と民間企業におけるドローン協定の締結(12月)【拡充】
- (3) 区本部運営訓練(10月9日)及び災害用ハマッコトイレ設営訓練の実施(1月)
- (4) 実動型訓練である多数傷病者発生事故対応訓練(10月23日)及びテロ対策訓練(11月11日)への参加【新規】
- (5) 「大雨による土砂崩れ(擁壁崩壊)を想定した連携救出訓練」の実施(1月)【新規】
(関係機関:区総務課、土木事務所、消防署、警察署、ドローン事業者、建築局、水道局西谷浄水場)

2 防災関連システム運用事業

河川水位警報システムの運用における構成部品整備及び警報音変更(～3月)

3 防災・減災啓発事業

- (1) 小中学生向け防災啓発資料配布及び出前授業の実施(通年)
- (2) 保土ヶ谷区がけ地相談会の実施(10月24日、25日 計12組)
- (3) 各種イベント参加による啓発(10月31日 区民まつり、11月22日 ほどばんマルシェ、3月7日 YBPにおけるイベント ※すべて予定)
- (4) 防災講演会の開催(～3月)



配備したスポットクーラー



小学校出前授業の様子(R7)



崖地相談会の様子(R7.11)

令和8年第3回 保土ヶ谷区区づくり推進横浜市議員会議

2 令和8年度保土ヶ谷区個性ある区づくり推進費執行状況について

施策分野・事業名	8年度予算
暮らしの安心・安全の確保	10,263 千円
災害対策推進事業【20万区民の自助・共助による減災運動】(総務課)	

4 災害時ペット対策の周知啓発

- (1) 災害時ペット対策物品(一時飼育場所を示すのぼり旗、担当者用腕章等)の追加配布予定(全27拠点)
- (2) 地域防災拠点での啓発及び訓練支援
- (3) 区民まつりでの啓発(10月31日)

5 福祉避難所体制構築事業

災害時要援護者名簿の作成及び協定を締結している自治会町内会への配付(～3月)



ペット同行避難訓練(R7)

6 地域防災拠点支援事業

- (1) 地域防災拠点備蓄食料等の更新及び追加配布(8～2月)
- (2) 各地域防災拠点運営訓練支援(9～1月)

<令和8年度 地域防災拠点訓練予定 一覧>

訓練日	拠点名	開始予定	終了予定	訓練日	拠点名	開始予定	終了予定	訓練日	拠点名	開始予定	終了予定
9月13日(日)	境木小学校	8:00	12:00	10月18日(日)	上菅田笹の丘小学校	9:00	12:00	11月8日(日)	峯小学校	9:00	11:00
9月27日(日)	川島小学校	9:00	12:10	10月25日(日)	宮田中学校	8:00	11:45	11月8日(日)	桜台小学校	9:00	12:00
10月4日(日)	旧くぬぎ台小学校	10:00	13:00	10月25日(日)	保土ヶ谷小学校	9:30	12:30	11月8日(日)	岩崎小学校	9:00	11:30
10月4日(日)	常盤台小学校	7:30	13:00	10月25日(日)	岩崎中学校	8:30	12:00	11月14日(土)	保土ヶ谷中学校	8:00	13:00
10月4日(日)	橘中学校	9:00	12:00	11月1日(日)	上菅田中学校	9:00	12:00	11月15日(日)	富士見台小学校	10:00	12:00
10月11日(日)	今井小学校	9:00	12:00	11月1日(日)	上星川小学校	9:00	12:00	11月15日(日)	初音が丘小学校	9:00	12:00
10月17日(土)	西谷中学校	8:00	13:00	11月7日(土)	星川小学校	8:30	12:00	11月21日(土)	権太坂小学校	8:00	13:00
10月17日(土)	坂本小学校	8:30	12:30	11月7日(土)	藤塚小学校	8:15	12:30	12月13日(日)	瀬戸ヶ谷小学校	7:00	13:00
10月18日(日)	新井小学校	9:00	11:30	11月8日(日)	仏向小学校	10:00	12:00	1月17日(日)	帷子小学校	10:00	12:00

令和8年第3回 保土ヶ谷区区づくり推進横浜市議員会議

2 令和8年度保土ヶ谷区個性ある区づくり推進費執行状況について

施策分野・事業名	8年度予算
つながり・支えあいの推進	2, 578 千円
地域見守り推進事業（福祉保健課）	

事業概要（目的）

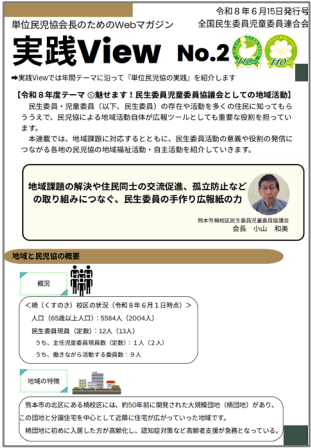
ひとり暮らし高齢者等が地域でつながりを持ち、孤立せずに安心して暮らすことができるよう、地域にお住いのあんしん訪問員（ボランティア）が、区役所や地域包括支援センター等と連携しながら継続的に見守ります。また、民生委員・児童委員の活動を補佐する協力員を配置し、民生委員・児童委員の物理的・心理的負担軽減を図るとともに、知識・経験の継承や新たな担い手の発掘につなげます。併せて、民生委員・児童委員の活動を地域住民に正しく理解していただくための広報・啓発を行います。

これまでの執行状況

- (1) あんしん訪問事業（あんしん訪問員数：510 名（23 地区））
 - ・訪問世帯数：11,432 世帯（令和7年度実績）
- (2) 民生委員・児童委員協力員（計 63 名、内今年度新規6名）
 - ・（制度拡充）今年度から協力員を主任児童委員にも配置（現在3名）
- (3) 民生委員・児童委員活動の広報・啓発
 - ・「ほどがや花フェスタ 2026」におけるブース出展・活動PR（5月）
 - ・全国民生委員児童委員連合会発行の Web マガジン「実践 View」への「民生委員・児童委員協力員制度」の紹介記事掲載（6月）

今後の予定

- (1) 民生委員・児童委員活動の広報・啓発
 - ・区民まつりや各種イベント等での普及啓発（10 月ほか）
 - ・広報よこはま区版での特集記事掲載（3月）



Web マガジン「実践 View」



ほどがや花フェスタでの啓発活動
(R8.5)

令和9年度保土ヶ谷区予算編成の考え方について

《区の基本目標》

「いつまでも住み続けたいまち ほどがや」を未来へ

令和9年度個性ある区づくり推進費については、『3つの市政方針（財政ビジョン、横浜市中期計画、行政運営の基本方針）』を踏まえ、「創造と転換」による事業の新陳代謝を図りながら、市の基本戦略「市民生活の安心・安全×横浜の持続的な成長・発展」と、区の基本目標である「いつまでも住み続けたいまち ほどがや」を未来へ の実現を目指し予算編成を進めます。

区制 100 周年の周年事業や「横浜グリーンエキスポ」に連動した事業を検討するほか、『ほどがや花憲章』を生かした花と緑あふれる街づくりを推進し、歴史や文化など区の特徴を生かした取組を進めます。また、令和 8 年度に実施した保土ヶ谷区区民意識調査等を活用し、子どもから高齢者まで幅広い年代のニーズや区の課題を把握するとともに、「もっといい保土ヶ谷」を目指し、アウトカム指標や各種データを事業の目的や効果の検証に活用しながら区役所全体で幅広く議論を行い、区民の皆様と取り組んでまいります。

《令和9年度予算の重点分野》

I 暮らしの安心・安全の確保

【主な取組分野】防災・減災、防犯、交通安全、暮らしの安心・安全、環境

II 子どもから高齢者まで誰もが健やかに暮らせるまちづくり

【主な取組分野】こども・子育て、障害児・者、高齢者、健康

III つながり・支えあいの推進

【主な取組分野】地域活動支援、地域支えあい、地域の担い手育成、地域福祉保健

IV 魅力と賑わいのあるまちづくり

【主な取組分野】区制100周年事業、横浜グリーンエキスポ連携事業、魅力づくり・発信、賑わいづくり

V 信頼される区役所づくり

【主な取組分野】上記4つの施策分野を支える事業・取組、広報、組織運営